

# ムツウサに興味津々

## 稲嶺知事が工場視察

城辺町

稲嶺恵一知事は十四日午後、宮古本島内の二製糖工場や城辺町内で宮古

ビジネス・ピローサ(和名・タチアワユキセンダングサ、方言名・ムツウ



ムツウサ工場を視察する稲嶺知事(中央) 14日、城辺町内にあるかぎすま宮古の工場内

サ)を加工している「かぎすま宮古」を精力的に視察した。視察後に稲嶺知事は「印象的な視察になった」と強調し、台風被害を受けた製糖工場の順調な稼働状況やかぎすま宮古の産業創出に喜びと期待感を示した。

稲嶺知事は同日午前オリックスのキャンプ地である平良市民球場を訪ねた後、午後から宮古本島の各地を視察した。沖縄製糖宮古工場、宮古製糖城辺工場を訪ねた後、城辺町のかぎすま宮古を視察、それぞれ関係者から説明を受けていた。

このうち、かぎすま宮古では宮国匡社長のほか、城辺町の仲間克町長や川満広紀産業振興課長

が応対し、同工場内における作業内容を詳しく説明した。稲嶺知事は宮古本島内で栽培されたムツウサを洗い、乾燥させている様子を興味深そうに見ていた。ムツウサを原材料とする「かんぼう茶」も試飲し「飲みやすい」と述べ、県も推奨している健康食品のさらなるPRを促した。

視察の全日程を終えた稲嶺知事は「製糖工場については、工場が昨年九月の台風で被害を受けていたために心配していたが、両工場ともに昨年並みの稼働率と聞いて喜んでいる」と胸をなで下ろした様子。ムツウサ工場については「今、沖縄県の健康食品は順調に伸びている。宮古でも(かんぼう茶の)島産の製品ができ、素晴らしい産業が生まれることを期待している」と話していた。